



未来の医療を担う—2019年度の初期研修医たち



理念

「皆様の信頼と満足」
それを極めることが
私たちの使命です。

基本方針

- 患者の権利を尊重します
- 医療の質の向上に努めます
- 地域社会に貢献します

目次

CONTENTS

- 1 **けんこう・いりよう** >> P02
○診療科案内 循環器内科
- 2 **けんこう・いりよう** >> P03
○年に一度はボディチェックしよう
- 3 **けんこう・いりよう** >> P04
○認定看護師が活躍する専門外来
- 4 **おやくだち情報** >> P05
○患者図書室「いきいきの森」推薦図書 終末期に関する本
○人生会議、しよう。
～わたしの仕舞い方～
- 5 **「こうじゅん会」からのお知らせ・ニュース** >> P06
○イベント報告・案内
○職員情報
○講演会・研究会案内
- 6 **あなたの町の「かかりつけ医」** >> P07
○うえずぎクリニック
○菅谷クリニック

7月のトップニュース

NEWS

市民公開講座「食べる・歩く・出す」始まりました!

2019年度前期の市民公開講座が南区と緑区の両会場で行われました。6月のテーマは「出す」。当院の皮膚・排泄ケア認定看護師・水谷昌義から尿失禁のしくみとケアなどについてお話し、おむつやパッドの使い分け方なども解説。そして理学療法士とともに尿失禁の予防や改善に効果のある骨盤底筋エクササイズを皆で行いました。ちょっと話しにくい話題もユーモア満載の講座で大いに盛り上がりました。

7月は「歩く」、8月は「食べる」、そして9月は「人生会議」と続きます。



南区会場の様子



緑区会場でお話する水谷看護師

予告! 「脳卒中キャラバン」

「今の医療なら脳卒中は治る可能性が高い。それにはおかしいと思ったらすぐに病院に行くこと。放っておいても脳卒中では死なない。後遺症が残るだけなんだ!」

そんな熱い思いを胸に、当院総合内科の小鹿幸生医師が地域のコミュニティセンターを行脚する講座は今年の夏スタートします!

診療科案内 循環器内科

日本人の死亡原因としていまも第2位の心疾患。循環器医療の充実はわたしたちが目指す高度急性期医療に欠かせません。大同病院の循環器内科が大きく動き始めました。

命を救う、それが私たちの使命

今年1月に赴任した近藤和久医師を中心に、急性期心疾患の診断・治療に力を入れる当院の循環器内科。虚血性心疾患の疑いがある胸痛や不整脈の専門的な検査が必要であるなど、地域の先生方から紹介された患者さんや、救急車で緊急搬送された患者さんに対して迅速かつ的確な診療を行い、お元気で地域に戻っていただくため日々体制を整えています。

大同病院にはCTや運動負荷心電図、シンチグラフィ（放射性的薬剤注射を使った画像診断）などさまざまな診断装置が整っていますが、これを患者さんの状態に合わせて使いこなすのは、全員が日本循環器学会に認定された循環器専門医のチームだからこそ。

心臓の筋肉に血液を供給する冠動脈が詰まる急性心筋こうそくの治療では、発症から詰まった冠動脈の血流を再開させるまでの時間（90分以内が目標）がカギを握ります。当院では病院到着前から診断を開始できるドクターカーも活用し、1分1秒でも早く治療を開始することを目指します。



豊かな経験と最新の臨床データに基づく治療を行う当院の循環器内科チーム。前列左から、林田 竜(部長)、近藤和久(主任部長)、森田純生、後列左から、杉浦由紀、奥山龍之介、三木裕介各医師

不整脈の治療

心臓は、自ら電気を発生させて動いています。洞結節と呼ばれる部位で発生した電気信号が、心房から心室に順に伝わることで心臓の筋肉を収縮させ、全身に血液を送り出しています。その動きのリズムが乱れる状態が不整脈です。

なかでも「心房細動」や「心室性期外収縮」などの不整脈に有効な、「カテーテルアブレーション」という治療法が施行できるようになりました。これは、心臓にカテーテルを挿入し、不整脈の原因となる電気の発生個所を焼き切るもので、根治が期待される治療法です。

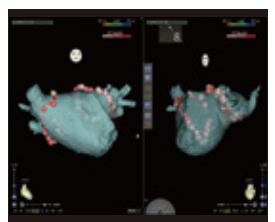
心房細動は心房が不規則に収縮する不整脈で、加齢につれ有病率が高く、心原性の脳こうそくの原因にもなります。



上：不整脈治療の専門医を招き、カテーテルアブレーション治療を行う循環器チーム。



右：CTで心臓を画像化しながら、ワイヤーを動脈から挿入し、異常な箇所を焼灼する様子をクリアに見ることができる。



日帰り入院の心臓カテーテル検査が始まりました！

狭心症や心筋こうそくの評価のため、手首や肘の動脈からカテーテルを挿入して冠動脈を造影する検査を、**日帰り入院（土曜日を含む）**で受けていただくことが可能になりました。平日はなかなか来院できない方も、ぜひご利用ください。



健康・医療

けんこう・いりょう



HEALTH / MEDICAL

年に一度はボディチェックしよう

特定健診で生活習慣病を、がん検診でがんを、予防しよう!

特定健診とは、40～74歳を対象としたいいわゆる“メタボ健診”のこと。糖尿病・高血圧などの生活習慣病の発症前段階である、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の予防と、早期発見・早期治療を目的としています。生活習慣病のリスクが高いという結果が出た方には、専門スタッフ(保健師、管理栄養士など)がライフスタイルを見直すサポートをしています。

ただし特定健診はメタボ対策が目的のため、がん対策として「がん検診」も併せておすすめします。胃がん・大腸がん・肺がん・子宮がん・乳がん・前立腺がんの検診があり、名古屋市にお住まいの方はワンコイン(=1検査500円)で、東海市の方も少ない自己負担で受けられます(無料クーポン券対象者など一部の方は無料)。詳細は各自自治体のご案内をご確認ください。

生活習慣病は今や日本人の死亡原因の約6割を占めます。さらに2人に1人はがんになり、3人に1人はがんで死亡する時代。“自分は大丈夫”と過信せず、きちんと検査を受けましょう!

	だいでうクリニック (名古屋市在住の方)	内田橋ファミリークリニック (名古屋市在住の方)	大同みどりクリニック (名古屋市在住の方)	中央クリニック (東海市在住の方)
特定健診	○	○	○	×
がん検診	胃	◎	×	△
	大腸	○	○	○
	肺	○	○	○
	子宮	○	×	×
	乳	○	×	×
前立腺	○	○	○	○

各市の胃がん検診のうち、◎:バリウム検査と内視鏡検査 △:内視鏡検査、●:バリウム検査 に対応。

大同みどりクリニックで内視鏡検査が受けられます

大同みどりクリニック(名古屋市緑区鳴海町)で、内視鏡検査(胃カメラ/大腸カメラ)を始めました。名古屋市の胃がん検診にも対応しています。内視鏡専門医による痛みを抑えた検査を、出勤前や仕事の後に受けやすいように朝は8:30から夕方は19:00まで、完全予約制で実施しています。



検査は日本消化器内視鏡学会認定専門医の印牧直人医師が担当します。

平日は忙しいという女性は日曜女性検診へ!

10月20日(日)に婦人科検診を受けられます。スタッフはすべて女性。電話でお問い合わせください。

場所 だいでうクリニック1階 健診センター

時間 午前 8:30~12:15 午後 13:00~15:00

内容 【乳がん検診】※視触診はなし

・マンモグラフィ 4,500円(税別)

・乳部超音波 4,000円(税別)

・マンモグラフィ+乳部超音波 8,000円(税別)

【子宮頸がん検診】※午前中のみ 3,000円(税別)

申込 健診センター直通 TEL 052-611-8680

※完全予約制

健診と一緒に風しん抗体検査が受けられます

風しんの感染拡大を防ぐため、下記に該当する方は2022年3月31日までの3年間に限り、健康診断と一緒に抗体検査を受けることが可能になっています。(だいでうクリニックと中央クリニックのみ)

対象の方には、市町村から届きます**クーポン券**を利用して、まずは**抗体検査**を受けていただき、検査の結果、十分な量の抗体がない方は、定期接種の対象となります。(だいでうクリニックで接種できます)

◆対象者

昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性の方。



認定看護師が活躍する専門外来

大同病院・だいどうクリニックには、特定の分野で専門的な知識と技術をもつ認定看護師が数多く在籍しています。そんな彼らがスキルを生かし患者さまに寄り添い、いろいろな問題にきめ細かく対応する外来があります。

◆小児看護ケア外来(月～金曜日14時～17時)

小児救急看護認定看護師の谷朋美(写真後列中央)は、だいどうクリニック小児科外来で保護者たちのさまざまな相談に乗ります。重症心身障がい児の医療的ケア、食物アレルギー児の食事、肌への薬の塗り方、喘息児の吸入などの指導を行い、さらに便秘や、離乳食を食べないといった育児の悩みにも応えます。小児科外来には10名の看護師が在籍し、谷を中心にそれぞれが得意分野をもって活躍しています。

医師の診察・薬の処方に加え、看護師による直接ケア・指導が、より早い快復や保護者の気持ちを和らげることに繋がります。「小児救急看護」とは**子供が健やかに成長するためにあらゆるサポート**なのです。



◆緩和ケア外来(毎週月曜日14時～16時)

がんの療養にはさまざまな苦痛が伴うことがあります。胸が苦しい、吐き気がする、咳がひどいといった症状コントロールが必要な患者さんのケアを担当するのがこの外来です。**がん性疼痛看護認定看護師**の高木佳代(写真左)、そして松山医師と畑中薬剤師が、痛みの評価や薬の使い方指導などを行います。

この外来ではがん以外の疾患の患者さんも受け入れ、かつ**身体的な苦痛だけでなく、精神的な苦痛にも寄り添います**。例えば主治医から「この先の治療が難しい」と宣告された患者さんの、人生の最期をどこでどのように過ごしたいかといったことにも応えています。

※予約センターから予約可能です



◆ストーマ外来(毎週水曜日13時～16時)

人工肛門や人工膀胱などのストーマ装具を着ける場合には、便が漏れる、肌がかぶれる、交換に不安があるといった悩みが多く聞かれます。

皮膚・排泄ケア認定看護師の水谷昌義(写真左)は、消化器外科で開設する「ストーマ外来」で、小谷医師や外科病棟での経験が豊富な武田看護師とともに、こうした悩みに応え、ケアの指導を行います。排泄というデリケートなテーマを気さくに語る穏やかな雰囲気です。

ストーマと長い付き合いの患者さんも多く、体調やライフスタイルによってケアの仕方も変化します。専門家による定期的な体調管理は変化にも適切に対応し、**患者さんのQOLの維持・向上**をめざします。



◆CKD療法看護師外来(月～金曜日14時半～17時)

この外来では、慢性腎臓病(CKD)の患者さんを対象に、腎臓が悪くなる前に看護師が関わり、腎臓病治療に必要な生活指導・相談を行い、腎臓の機能低下を緩やかにできるように支援します。それでも悪化した場合は、代替療法(血液透析・腹膜透析・腎移植)が必要となります。患者さん・家族が**治療について理解し、納得したうえで治療選択**ができるよう**透析看護認定看護師**である武山友紀(写真右)を中心に支援します。また血液透析、腹膜透析について詳しく知っていただくために、透析室の見学や腹膜透析のデモ体験などを実施しています。





終末期に関する本

「最期まで自分らしく生きるためにできること」「大切な人に最期にしてあげられること」

あるデータによれば、日本人の2人に1人が一生のうち一度はがんになるそうです。また、がんは日本人の最も多い死亡原因でもあります。私たちにとって身近な病気ですが、実際に自分自身、あるいは大切な人ががんになり余命を宣告されたとき、残された時間をどう過ごすかはとても難しい問題です。

がんになった人、傍で見守る人。それぞれに違った苦悩や葛藤があります。また症状や経過、病気や治療に対する考え方、周囲の人との関係性など人により状況は様々で、問題点に対して「これが正解」と言えることはありません。

本書は、ホスピスケア研究会に寄せられた相談をもとに考えられた、患者さんと周囲の人たちが直面する問題へのアドバイスです。お互いを思いやる気持ちが、きちんと届くように願います。

「終活」のヒントとしても、
ご活用ください。

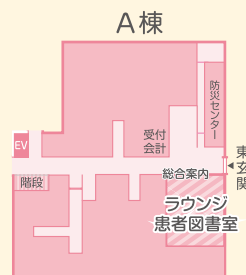


「いきいきの森」のご案内

ご利用時間・方法

月～金 8:30～17:00
土 8:30～14:00
(日曜・祝日・年末年始はお休みです)

貸出希望の方は総合案内の
スタッフに声をかけてください



人生会議、しよう。

～わたしの仕舞い方～

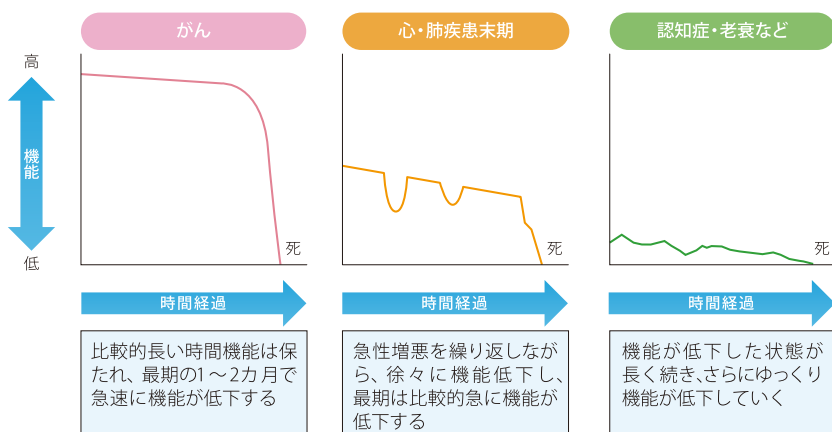


終末期に起こること

終末期で療養する患者さんが、予後(最後に至るまでの病気の見通し)を知らされていないために、最期をどう過ごしたいか考えるのが難しいことがあります。

これ以上、病気の治療が困難だという状態は、現代医療のもとでも起こります。そんなとき、医学的な見地から、患者さんがいまどのような状態にあるかをお知らせし、最期までその人らしく過ごしていただくために可能な限りの支援をすることは、私たち医療者の務めです。また患者さんや近親者の方々も、自分たちなりに考えるためには、病気による終末期のパターンがあることを知っておくと良いでしょう。有名な図を紹介します。

終末期をどう過ごすか、病状やケアに関して不安や困りごとがあれば、どうか、いちばんお近くにいる職員に声をかけてください。



出典:Lunney et al(2002): J Am Soc.2002



イベント案内

★今年の病院祭は10月13日!

毎年大盛況の病院祭を10月13日(日)に開催します。病院のお仕事体験など楽しい催しを計画中。お楽しみに!



老健イベント

6月はドリフの大爆笑の上映会を行いました。大笑いしながら「懐かしいね」とお話されていました。今後は7月3・4日に七夕会、8月6・7日に夏祭りを予定しています。特に夏祭りは老健で一番の催しになりますのでご期待ください。



今後のイベント開催予定

★だいでうなつやすみコンサート

日時 2019年7月20日(土)11:00~12:00
場所 だいでうクリニック1階エントランスホール

★糖尿病教室

日時 2019年7月25日,9月26日(木)14:00~15:00
場所 だいでうクリニック5階講堂

★がんサロン ease

日時 2019年8月20日,10月15日(火)12:00~14:00

講演会・研究会案内

Meet the Professor(5月7日)

テーマ: 糖尿病網膜症って、どんな病気?

講師: 小椋 祐一郎 先生(名古屋市立大学病院 病院長)

第12回名古屋予防接種研究会(5月25日)

テーマ①: 予防接種の最近の話題

講師: 浅井 雅美 医師
(だいでうクリニック予防接種センター長)

テーマ②: 渡航ワクチン、海外の状況について

講師: 菊池 均 先生(名鉄病院予防接種センター長)

感染対策研修会(6月4日)

テーマ: 麻疹の流行と院内感染対策

講師: 浅井 雅美 医師(大同病院医療の質管理部長)

Meet the Professor(6月13日)

テーマ: 癌の奇跡

講師: 吉川 史隆 先生
(名古屋大学医学部附属病院産婦人科 教授)

医師対象の勉強会のご案内

8月23日(金) 第10回 緑・大同病診連携研究会

時間: 20:00~21:30
場所: 緑区休日急病診療所
テーマ: リウマチ性疾患
講師: 土師 陽一郎 医師
(大同病院膠原病・リウマチ内科主任部長)

8月27日(火) 第15回 南・大同地域連携研究会

時間: 20:15~21:45
場所: 南区医師会館(休日急病診療所2階)
テーマ: 小児疾患、呼吸器疾患
講師: 浅井 雅美 医師(大同病院小児科主任部長)
沓名 健雄 医師
(大同病院呼吸器内科主任部長)

9月14日(土) 第5回 大同病診連携研究会

時間: 15:00~17:00
場所: だいでうクリニック
テーマ: 脳血管疾患、脊椎疾患
講師: 辻内 高士 医師(大同病院脳神経外科部長)
中島 康博 医師
(大同病院脳外科脊椎センター長)

上記以外にも多数開催しています。開催予定はホームページの「学術講演会・研究会」にてご確認ください。

職員情報

新任医師のご紹介

5月1日着任



飯田 啓太郎
泌尿器科

6月1日着任



村松 沙織
血液・化学療法内科

退任医師のご案内

4月30日退任

海野 怜 泌尿器科
金杉 丈 血液・化学療法内科

5月31日退任

廣末 優子 歯科口腔外科

6月30日退任

橋本 踏青 循環器内科



あなたの町の「かかりつけ医」

あなたの町の「かかりつけ医」



COMMUNITY MEDICINE COOPERATION

名古屋市緑区桶狭間

内科、循環器内科

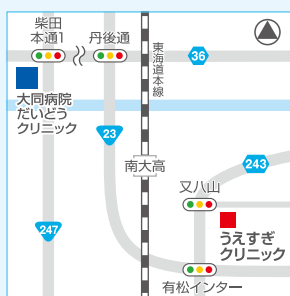
うえすぎクリニック



データ

DATA

住所 名古屋市緑区
桶狭間森前2801
電話番号 052-621-0400
院長 上杉 道伯
診療科目 内科、循環器内科



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	△	×
午後 16:00~19:00	○	○	○	×	○	×	×

上杉 道伯先生

Q1.患者様はどのような疾患の方が多いですか？

狭心症、閉塞性動脈硬化症などの心血管疾患や高血圧、脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病の方が多いです。地域から小児急性期疾患の方も多くお見えになります。ご家族で通院されている方も多くみえます。

Q2.地域のかかりつけ医として、日頃どのようなことに気を配っていますか？

スタッフ一同なんでも相談できる雰囲気をつくるよう心がけております。症状・病名や治療内容・方針、薬に関する情報等を十分に説明し納得していただけるよう努めております。

Q3.診察において興味をもっている、今後力を入れていきたい分野は何ですか？

引き続き循環器、血管疾患の診療に力を入れていきます。ガイドラインに沿った治療の提供を心がけています。

Q4.これを手に取ってくださった患者様へ一言アピールをお願いします。

採血(特殊なものは除く)やホルター心電図などは即日結果説明を基本としております。何でも気軽にご相談ください。よろしくお願いたします。

名古屋市瑞穂区豆田町

内科、呼吸器内科、外科

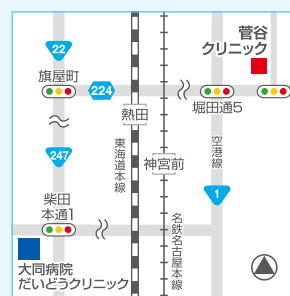
菅谷クリニック



データ

DATA

住所 名古屋市瑞穂区
豆田町2-1
電話番号 052-871-5941
院長 菅谷 将一
診療科目 内科、呼吸器内科、
外科



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	△	×
午後 16:00~19:00	○	○	○	×	○	×	×

△…9:00~13:00

菅谷 将一先生

Q1.患者様はどのような疾患の方が多いですか？

今年4月に開業し、風邪や生活習慣病などの方に加え、私が呼吸器疾患の専門であることを知り、COPDや喘息などの患者さんが増えてきています。

Q2.今後力を入れていきたい分野は何ですか？

病院では呼吸器外科医として肺がんなどの手術を多く手掛けてきました。開胸したときに「もっと早く見つけていたら」と思う患者さんに出会うことも多かった。だから町で開業するにあたり、「病気の早期発見によって皆さんに貢献していこう」と思い、高精度な検査が可能な機器も導入しました。少しでも疑いがあればすぐに病院と連携し、治療後に安心して自宅で過ごしていただけるよう診療していきます。

Q3.これを手に取ってくださった患者様へ一言アピールをお願いします。

呼吸器にとどまらず総合的にかかりつけ医として家族で診させていただけるよう、内科全般の経験を積み、また小児のことも勉強しています。

とにかく気軽に立ち寄って、一緒にお茶を飲む感覚で相談していただけるような雰囲気を作りたいと思います。患者さんと対等な目線でいたいですね。

沿革

昭和	14年 9月	大同製鋼(株)の病院部門として大同製鋼病院を開設
	23年 8月	大同病院に名称変更
	38年 4月	看護学校開設
	46年 4月	病院改築工事 完成(病床数400床)
	60年 3月	総合病院承認
	60年 4月	医療法人宏潤会 大同病院として独立開設
	60年 12月	基準看護病院承認(特1類)
	元年 5月	大同老人保健施設開設(147床、デイケア3床)
	11年 4月	大同訪問看護ステーション開設
	11年 8月	大同居宅介護支援事業所開設
平成	13年 4月	特別養護老人ホーム「ゆうあいの里 大同」開設
	15年 4月	臨床研修指定病院承認
	15年 7月	新A棟完成(病床数404床)
	16年 6月	日本医療機能評価機構認定(Ver.4.0)
	17年 10月	「急性期入院加算」認定
	18年 5月	DPC対象病院「7対1看護加算」認定
	18年 7月	電子カルテ導入
	18年 10月	だいでうクリニック開設
	19年 11月	集中治療室(6床)開設
	21年 6月	日本医療機能評価機構認定(Ver.5.0)
	22年 4月	中央クリニック開設
	23年 4月	社会医療法人認定(救急事業)
	23年 12月	社会医療法人追加認定(小児救急事業)
	26年 8月	新B棟オープン
	27年 3月	日本医療機能評価機構認定(3rdG:Ver.1.0)
	29年 5月	大同みどりクリニック開設
	31年 1月	内田橋ファミリークリニック開設
	31年 4月	地域周産期母子医療センターに指定

宏潤会 施設および関連施設等

予防接種センター	〒457-8511 名古屋市南区白水町8番地 TEL.052-611-8650 FAX.052-611-8651
健診センター	TEL.052-611-8680 FAX.052-611-8683
地域医療連携室	TEL.052-611-1122 FAX.052-611-1021
大同老人保健施設	〒457-8511 名古屋市南区白水町9番地 TEL.052-611-8605 FAX.052-611-8909
大同訪問看護ステーション	TEL.052-613-1266 FAX.052-613-3272
大同居宅介護支援事業所	TEL.052-611-8608 FAX.052-611-8686
大同福祉会	〒457-8512 名古屋市南区白水町20番地
ゆうあいの里大同	TEL.052-612-3030 FAX.052-612-3076
中央クリニック	〒476-0015 東海市東海町5丁目3番地 TEL.052-603-7310 FAX.052-603-7087
大同みどりクリニック	〒458-0801 名古屋市緑区鳴海町字矢切37番地 TEL.052-891-4157 FAX.052-891-4160
内田橋ファミリークリニック	〒457-0862 名古屋市南区内田橋1丁目30番9号 TEL.052-691-5223 FAX.052-691-5287



大同病院

〒457-8511 名古屋市南区白水町9番地
TEL.052-611-6261 FAX.052-614-1036

診療科目

- | | | |
|-------------|----------------|-------------|
| ◆総合内科 | ◆放射線診断科 | ◆小児科(新生児) |
| ◆老年内科 | ◆放射線治療科 | ◆産婦人科 |
| ◆血液・化学療法内科 | ◆精神科 | ◆泌尿器科 |
| ◆糖尿病・内分泌内科 | ◆一般外科 | ◆耳鼻咽喉科 |
| ◆腫瘍内科 | ◆消化器外科 | ◆眼科 |
| ◆循環器内科 | ◆呼吸器・心臓血管外科 | ◆皮膚科 |
| ◆呼吸器内科 | ◆乳腺外科 | ◆歯科口腔外科 |
| ◆消化器内科 | ◆小児外科 | ◆歯科 |
| ◆内視鏡内科 | ◆脳神経外科 | ◆リハビリテーション科 |
| ◆脳神経内科 | ◆整形外科 | ◆臨床検査科 |
| ◆腎臓内科 | ◆麻酔科 | ◆病理診断科 |
| ◆腎血液浄化科 | ◆麻酔科(ペインクリニック) | ◆救急科 |
| ◆膠原病・リウマチ内科 | ◆小児科 | ◆外来化学療法室 |
| ◆緩和ケア内科 | ◆小児アレルギー科 | |

だいでうクリニック

だいでう 〒457-8511 名古屋市南区白水町8番地
クリニック TEL.052-611-6262 FAX.052-611-8625

診療科目

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| ◆総合内科 | ◆放射線科 | ◆小児アレルギー科 |
| ◆老年内科 | ◆精神科 | ◆内分泌小児科 |
| ◆血液・化学療法内科 | ◆一般外科 | ◆呼吸器小児科 |
| ◆糖尿病・内分泌内科 | ◆消化器外科 | ◆産婦人科 |
| ◆腫瘍内科 | ◆呼吸器・心臓血管外科 | ◆泌尿器科 |
| ◆循環器内科 | ◆乳腺外科 | ◆耳鼻咽喉科 |
| ◆呼吸器内科 | ◆肛門外科 | ◆眼科 |
| ◆消化器内科 | ◆小児外科 | ◆皮膚科 |
| ◆脳神経内科 | ◆形成外科 | ◆リハビリテーション科 |
| ◆腎臓内科 | ◆脳神経外科 | ◆臨床検査科 |
| ◆腎血液浄化科 | ◆小児脳神経外科 | ◆病理診断科 |
| ◆膠原病・リウマチ内科 | ◆整形外科 | ◆健診センター |
| ◆緩和ケア内科 | ◆小児科 | ◆予防接種センター |

専門外来

- ◆呼吸ケア外来 ◆禁煙外来 ◆睡眠時無呼吸症候群:SAS外来
- ◆小児専門外来(アレルギー、循環器、心理、内分泌、肥満、栄養指導)など

だいでうクリニック予約センター

TEL.052-611-6265

当日受診の予約受付 8:30~11:30

翌日以降受診の予約受付&変更 11:30~17:00(土曜日14:00まで)

地域医療連携室

TEL.052-611-1122 FAX.052-611-1021

バックナンバーのご案内

「みんなのひろば」のバックナンバーは、大同病院ホームページでご覧いただけます。

- [ホーム](#)
[当院について](#)
[広報室](#)
[みんなのひろば](#)